

NO	時期	時期区分	タイトル	場所	概要
1	2001-2009	後期	活動団体と共に作る都市環境デザイン 琵琶湖・淀川流域連携交流	琵琶湖・淀川	市民活動が担う時代のデザイン。単なるハード整備ではなく、また、自然環境だけでない全ての環境を包括しながら活動団体と共に考え育むデザイン。
2	2001-2009	後期	生野町まちづくり基本条例	兵庫県生野町	都市環境を基本的に支える行政の「まちづくり」への姿勢を確立する必要がある。1996年からの「地域づくり生野塾」のアドバイザーを通じて、基本条例制定に及ぶ道筋に協力した。 ・地域づくり生野塾生、行政職員や策定委員会委員など、多くの人々の協議の結果である
3	2001-2009	後期	大阪市大梅田地区におけるエリアマネジメントシステム実現のための研究会活動	大阪市梅田	通称大梅田地区(約100ヘクタール)において、良質のエリアマネジメントシステムを構築するための研究会活動を行っている。それぞれの再開発プロジェクトに関わる企業や鉄道事業者、公益企業からなる研究会を組織し、その副座長を務める。
4	1991-2001	前期	「成長する都市マスタープラン」-伊勢市都市マスタープランの連続策定プロジェクト	伊勢市	公募型ワークショップによる伊勢市の都市マスタープラン策定の取り組み。中学校区ごとに都市マス委員会を立ち上げるとともに参加市民を公募して募り実施し、約10年間に渡って継続して取り組み、全体構想と4地域(5地区)で地域別構想を策定。当時、多くの自治体が都市マス策定の公募型ワークショップを取り入れ始めようとしていた時期で、申請者は北海道・東北・東海・近畿・四国など、多くの地域に呼ばれて伊勢事例紹介の講演を行った。『市民参加のまちづくり』『まちづくりブック伊勢』(何れも学芸出版社)などの本が生まれた。
5	1989-2000	前期	密集木造住宅市街地の整備	寝屋川市	・1985年から寝屋川市と公団、地権者で始めた「東大和地区」密集地区整備事業は、事業制度の発足(83)とともに進展を見せ、第1期公団ゾーンを1989年に完成させた。その後更に13年を費やして最後の事業が2002まで続き、それまでにない小規模ながら高密度な共同プロジェクトが連鎖し、面的な密集地区整備のモデルとなった。
6	1991-2001	前期	都市に関するマスタープランへの取り組み-「都市計画区域マスタープラン」「ひょうご・まちづくり都市計画」(2000~2003)	兵庫県	都市計画法で位置づけられた「都市計画区域マスタープラン」は、都市の総合的な計画であるが、所詮個別計画の寄せ集めを調整したものから脱することは困難である。法定計画の拘束を利用して、行政に、住民に、都市を廻る生活空間のあり方を改めて考える機会を演出しながらマスタープラン策定に取り組んだ。
7	2004-2008	後期	兵庫県における特別指定区域制度の運用(2004~2008)-市街化調整区域の土地利用計画への取り組み		都市環境は、都市計画的にはほぼ100%市街化区域において議論されてきた。しかし、市街化区域の指定から40年余開発禁止の区域として凍結されてきた市街化調整区域は開発の陰にありながら、そこには注目すべき居住環境資源が残されている。兵庫県の特別指定区域制度では市街化調整区域の新たな位置づけを、土地利用計画と連動する開発許可制度の運用により展開させていこうとしている。
8	1991-2000	前期	密集街地整備コンペへの応募(神戸市)-特選受賞 課題地:兵庫県神戸市の西出・東出中央ブロック(西出・東出・東川崎地区)	神戸市	1、密集市街地の再生において、「住み続けること」を重視し、将来に向けて何をどうすべきか、を提案し特選に選ばれたことで、地元や市民、関係者への問題提起となった。 2、JUDIでは、2000年第6回 JUDIセミナーにて「密集市街地整備の夢」として我々の案も取り上げてもらい、議論をしていただき、議論を深められた。 3、大学等の研究活動においても、多くの場面で取り上げてもらい、さらに研究を深めてもらうなど、議論の展開が起きた 4、都市基盤整備公団(現:都市再生機構)による密集事業への展開として一部が実現した。
9			『都市のリ・デザイン』の出版		
10	1991-2000	前期	『都市環境デザインの手法-魅力あるまちづくりの展開』(学芸出版社)の出版、同改訂版の出版		都市デザインという作業が、都市環境の整備に対して何をなすべきか、なしうるかなどの現状と課題を整理し、出版する。市民や社会、とりわけ都市設計や建築を学ぶ学生諸君を読者対象として想定し、問題提起する。
11		前期後期	JUDI関西における海外との交流、視察事業		1998年のメルカテッロを第1回とし、その後、ジョグジャカルタ、ロンドリーナ(ブラジル)、ヘルシンキ、バンコク、大邱・ハノイ・プータン・アイゼンハッテンシュタット・メキシコシティ・水原、そして2度目のメルカテッロと海外を訪れ、様々な交流を企画し事業化してきたことは、海外の都市にインパクトを与える場合もあり、同行の日本人同士のインスパイアにも繋がり、また国内への海外スピリッツの反映としても意義が見いだせる事業として捉えることができる。
12	2001-2009	後期	産業デザインの研究指導		プロダクトデザイン・他を研究、指導する。
13		前期後期	人口減少社会における地域空間の変容に関する一連の調査研究	兵庫県	兵庫県県民政策部政策室が主催する、長期ビジョン策定にかかる一連の調査研究会(人口減少社会の展望研究、新しい時代潮流の調査研究、兵庫の将来像研究他)に参画し、少子高齢化・人口の偏在化の中での地域政策、地域デザインのありかたについて、郊外住宅地や中山間地域のフィールドワークやGISによる分析結果を基にした調査研究を行った。これらの作業と並行して、兵庫県におけるみどり条例の全県適用や小規模集落活性化事業などのアドバイスを行った。
14	1991-2000	前期	都市計画的観点からの「観光学」の研究の実践と公表。『観光学辞典』(1997)、『観光振興論』(1998)、『観光とコンベンション』(1999)、の出版。		「観光学」に都市計画の専門家としての視点・知見を提供。観光が都市計画的な意義を大きくしている中、その基本的なとらえ方や今後の方向性を提供。
15	1991-2000	前期	兵庫県立人と自然の博物館の開設(1992年開館)	三田市人と自然の博物館	県立人と自然の博物館の開設準備と開館後の運営に関わった。同館は、従来の自然系博物館とは異なり、人間の居住環境をベースに人と自然の共生のあり方をさぐる博物館であり、展示にも都市環境デザインに関するものが多々取り入れられ、またシンクタンク機能も有していて、都市環境のあり方に対して館員は行政や市民に対して問題提起や提案を行ってきている。
16	2001-2009	後期	東大阪市「住工共生のまちづくり」への調査研究、提言支援活動(2008年~2009年)	東大阪市	次世代ものづくり産業の主要拠点と目される東大阪市内で、工業地域において工場移転跡地に住宅立地が進み工場の操業環境が悪化している。これに対し住環境の確保と工場操業環境の保全を図る産業施策と都市計画施策の連携のあり方を調査研究した。これに基づき市は、「住工共生のまちづくりビジョン」を策定、モデル地区において戦略事業に取り組むとともに、国に対し問題提起と制度提言を行ったもの。
17	2001-2009	後期	『大阪のひきだし-都市再生フィールドノート-』の企画・執筆・出版	大阪市	大阪都心部の船場や堀江には、秀吉がつくった400年前の街割、大正・昭和初期の近代建築などの歴史的資産が今もなお密度濃く残されており、魅力的な空間が多い。いま、「民」が中心となり、このポテンシャルを活かしたヒューマンスケールのまちづくりが取り組まれている。「人の力」によるまちづくりは、水都、商都といったかつてから大阪に根付いていたイメージを見直し、いいものを活用していこうという身の丈のブランドづくりがおこなわれる良さがある。これは、どこにでもある地域の再生手法として捉えることができる。
18	2001-2009	後期	空堀地区:路地を活かした街なみづくり<伝統的街なみ整備、防災まちづくり>	大阪市空堀	街なみ環境整備事業導入の検討調査から、路地の修景整備のプランニングと維持管理組織の組み立て、地元住民による防災マップ作成補助まで、ハードの計画からソフトの仕組みづくり、啓発活動まで行った。
19	2002	後期	船場都心居住プロジェクト	大阪市	基盤と都心居住、都心産業の活性化に役立てようと、規模プロジェクトを連鎖・展開し、面的に拡大する方法をとった。住宅を中心に基盤と環境を同時に整備しながら、街の面的・質的向上に繋がる仕掛けを内包していることである。 ・こうした我々の考え方と動きは、2009年の現在も地元と民間に、「船場げんきの会」、「S・CREP(船場クリエイティブ推進協議会)」として引き継がれ、持続している。
20	2001-2009	後期	淡路ハニービル共同建設事業	大阪市	密集市街地(土地区画整理事業区域内)での小規模権利者の生活再建、防災性能が向上した新たなまちの街並み形成に寄与。事業コーディネート、建築設計
21			貝塚市「そぶら☆貝塚 ほんの字の里」及び蕎原町会館業務	貝塚市蕎原町	市、地元の信頼を得つつ貝塚市蕎原(そぶら)町の再生計画と位置づけた取り組み

22	2001-2009	後期	大津市市民活動センターの開設と運営	大津市	市民活動をサポートする中間支援機能が必要である。応募者が住まいする滋賀県大津市で、一市民の立場から市民活動センターの開設に向けて取り組み、その開設実現に寄与するとともに、センター開設後は指定管理者（NPO法人）の代表として、センターの管理運営を担っている。
23	1991-2000	前期	「まちづくり大津百町館」の開設による町家の保全とまちなかの活性化	滋賀県大津市	市民活動団体「大津の町家を考える会」が1997年に発足し、フォーラムの開催、町家マップや書籍（「大津百町物語」）の発行など、大津の町家を再評価する取り組みを展開。大津の中心部で10年以上空家になっていた町家を同会で借用して「まちづくり大津百町館」として再生・オープンさせ、町家体験の場、交流の場、情報発信の場として、一般に開放
24	2001-2009	後期	歴史的建造物の保存再生と身の丈再開発 —近江町市場館	石川県金沢市	藩政時代以来約290年にわたって市民の台所として親しまれてきた「近江町市場」の零細権利者主体の市街地再開発事業で、事業企画から計画・設計・管理運営にわたりトータルな生活再建重視型の事業である。「身の丈」というのは、最大容積（600%）に対し287.5%という計画密度で、加えて従前関係権利者の生活再建を現実的水準で実現したものである。また、市民のランドマークとして親しまれてきた北國銀行（村野藤吾氏設計）を免震基礎の上に曳きや移転し、歴史的景観保全を同時に実現している。
25		前期後期	メルカテッロ・スル・メタウロにおける築500年の都市住宅の修復プロジェクト		・イタリアにおける都市計画の仕組み、建築の修復技術の実態、その社会的背景、修復とまちづくりとの関係など、我が国では経験し得ない学習体験を重ねている。さらに、京都造形芸術大学、関西学院大学（加藤ゼミ）、JUDI関西等が訪れて研究、調査する、学習の場を提供している。
26	1994-現在	前期後期	「そうぞのさと」の農村景観づくり	伊賀市	大字単位による村民の自主活動による集落景観調査と景観整備事業（里山整備・河川整備・公園整備・施設整備など）を実施。10数年間で24大字の内20大字が取り組んだ大山田村役場のヒット事業。（合併直前の）2005年には国土交通大臣表彰まちづくり功労者受賞。ほとんどの大字が参加した大字単位の村民主体の息の長い（一過性ではない）集落景観整備事業。
27	2001-2009	後期	鹿背山の里山再生ワークショップ	関西学研	都市開発からの撤退し、放棄された里山（関西学研都市・木津北地区）。里山公園への道筋を探るため、「マツタケ山の再生」「子どもの遊び場づくり」「地場産業である柿畑の再生」などをテーマに月2～4回程度、地元住民を中心に里山に関わる人の輪を作る実験的なワークショップを行っている。
28	2001-2009	後期	マンション居住者との交流からはじまった地域自治のルールづくり	京都市下京区有隣地区	京町家や町衆に代表される歴史的な景観と地域自治が残る京都市内で、マンション居住者との交流、マンション建設業者等との任意協定、地区計画によるワンルームマンションの規制等を通じて、行政とのパートナーシップのもと、地域自治のルールづくりを地域住民が主体的に取り組んでいる。
29	2001-2009	後期	歓楽街のまちづくり ～低俗化からの脱出 宗右衛門町～	大阪市宗右衛門町	住民主体のまちづくり時代のデザイン。専門家の役割を果たしながら都市環境デザインを住民と共に作る。まちづくりのプロデュース
30	2001-2009	後期	堺市中区まちづくり考房	堺市中区	小学校区ごとの連合自治会を単位にメンバーを集めて、ワークショップにより地域資源や地域課題を発見し、何らかのまちづくり活動を先導し、各地域の単位自治会等でのまちづくり活動につなげていこうとするもの。地域力の向上を標榜している。筆者は座長として助言・支援を続けている。現在、第2期の活動に入っているが、第1期は魅力創出と防災、第2期は歴史文化と生活環境をテーマに活動している。1期の防災では、108自治会の9割以上が、まちづくり考房メンバーの指導で自力で各地域の防災マップをつくるなど、地域組織を主体にした自立的なまちづくりが根付きつつある。
31	2001-2009	後期	市民グループによる提案活動「ひとにやさしい駅へ—市民グループからの提案—」の活動支援	大阪市	地下鉄の駅という公共空間を通じて、都市空間の使い手、担い手としての市民の果たす役割と可能性について、行政、市民に示し、その後の駅施設の改善、整備につながった。市民グループによる調査、提案作成（1999年発行）、提言活動を支援。

提案者 横山あおい
小林郁雄
角野幸博
浅野 聡
千葉桂司
難波 健 難波 健
藤川敏行
鳴海邦碩 (角野幸博、澤 木昌典)
田端 修 (鳴海邦碩、神 原和彦)
難波 健
野口 和裕 角野幸博
金澤成保 澤木昌典 (中瀬勲)
土井幸平
篠原祥、 岸田
吉野国夫
千葉桂司
山本一馬
三好庸隆

森川稔
森川稔
齋藤彰良
井口勝文
浅野 聡
中村伸之
山本一馬
横山あおい
澤木昌典
山本一馬